

横浜国際港都建設審議会

第3回 第1部会(少子高齢化関連)

審議資料

資料 1 第3回第1部会の審議の進め方 (アウトライン)

資料 2 都市像等集約に向けた分類 (案)

資料 3 第1部会 中間とりまとめ案

資料 4 参考資料 (一式)

平成17年9月2日

「横浜国際港都建設審議会」 第3回 第1部会

次 第

- 1 開 会
- 2 前 回 の 内 容 ・ 他 部 会 の 状 況 報 告
- 3 今 回 の 審 議 内 容 （ 目 標 ）
- 4 審 議
- 5 次 回 の 日 程 連 絡 （ 総 会 及 び 部 会 ）
- 6 閉 会

～第3回第1部会の審議の進め方(アウトライン)～

前回の部会までの審議内容を、「都市像等集約に向けた分類(案)」(資料2)のとおり集約し、それをもとに**第1部会による都市像の方向性と施策の方向性の中間とりまとめ**(「第1部会中間とりまとめ案」(資料3))を作成しました。

今回、当該**中間とりまとめの審議**を行ったうえで、**第1回起草委員会へ報告**します。

<審議内容集約時の留意点(審議の参考)>

- ・前回部会においてライフステージ別に議論、集約したキーワード等に基づきつつ、起草委員会において他部会の審議内容(都市像の方向性等)との調整や集約等が行われることも考慮し、一定の論旨テーマごとに内容を集約(資料2)
- ・内容の主語が「広い意味での横浜市民」であることにも留意して、内容を文言化(資料3)

都市像の方向性

今回の審議内容

<資料3のイメージ(構造説明)>

都市像の方向性

この部分のイメージ合わせ・修正・削除・追加等の議論

<都市像の方向性の説明文>

↑起草委員会報告時の参考のため、イメージ(説明要旨)を記載してあります。

施策の方向性

施策の方向性 (施策の基本方向につながるもの)

●方向性の詳細

審議用にインデックスをつけてあります

報告

・他部会の審議分野に関するものも、第1部会の案として作成します。

・文言については、20年後も一般的と考えられる単語をなるべく使用します。(フリーター・ニート等は要検討です。)

～今後の流れ(参考)～

第1回起草委員会 9/13(火)

各部会の中間とりまとめをもとに、都市像等を全体調整・審議し、中間案を作成します。

～イメージ～

都市像の方向性
都市像の方向性
都市像の方向性

都市像
都市像

施策の方向性
施策の方向性
施策の方向性

施策の基本方向
施策の基本方向

第2回 総会 第4回 各部会 10/5(水)

中間案の審議を行います。

第2・3回起草委員会や第5回各部会において、答申(素案)作成に向けた、さらなる審議を進めます。

起草委員会での作業を考慮し、今回の各部会の「中間とりまとめ(案)」は、なるべく平易な表現を使用しています。(キャッチフレーズ的でない表現)

起草委員会における審議や、今後の部会審議に向け、「横浜らしい単語やフレーズ・言い換え」等がありましたら、この場でもご提案ください。

都市像等集約に向けた分類(案)

資料 2

重点項目	意見概要
<p>魅力ある生活環境 (青年期～家族形成期)</p>	<p>市内に「長く住む」とメリットがあるシステムを作る 人口が集まってくるような政策を戦略的にやっていくべき 若い世代が魅力を感じられる生活環境を作り出していくべき 若い世帯の住宅購入意識や定住指向などを把握することも、魅力ある都市づくりに必要 若い世帯が魅力を感じるものが、教育内容であったり子育て支援、就労環境などであるならば、それを売りにして定住化を図ることが横浜らしさにつながれば良い 観光資源などへの投資だけでなく、住んでいる市民にもっとアピールできる施策を進め、「住み続ける」ことへの満足度を高めるべき 「定住したくなる都市」が横浜らしさになる だれが転入してきてもウエルカムな開かれた社会が横浜の良さ 「希望の持てる社会」「横浜に住むメリット」「横浜で暮らす魅力」をそれぞれのライフステージごとに考えていく</p>
<p>子育て支援 (子ども・家族形成期)</p>	<p>子育てに関する負担を社会全体で支えていくくみが必要 様々な世代が子育てに係わり、連帯してその負担を担える社会の実現 親も子どもも将来に対する希望が持てる社会を実現することが必要 子どもを産むことに幸せを感じ、また、子ども自身が希望を持てるような社会を実現すべき 子育て世帯の収入確保の視点からも考えていくべき お金の問題は無視できない。子育て支援施策の充実が欠かせない 子育てに関する費用は、ほとんどが教育費である 「経済(競争)優先」では、子育ては面倒、デメリットになってしまう 子どもを産む選択がしにくい環境として、経済的なものと、自分の時間がなくなるという2つの理由がある 社会のくみが、子育てと仕事を両立させられる環境になっていない 男性と女性が(一緒に)「いる」ことや結婚することに魅力や価値観を見いだせない社会になっている</p>
<p>特色ある教育 (学齢期～高齢者)</p>	<p>これからは個性や多様性が重要となってくる 教育を、学校教育だけでなく一生涯にわたって考えていくことが必要 人が人を育てることにかかわるとい社会になっていない 地域コミュニティを支える人材の育成が重要 自分が受けた教育を自分の子どもにも受けさせたいと感じられる教育をどう提供していくかが重要 学校の意思決定に市民が参画したり、チェック機構を有したりすることが教育の充実にもつながり、市民参画の視点からも重要 経済的負担の少ない良質な教育の提供のため、公教育の再生が必要 学校教育を離れても再挑戦が可能な社会を実現すべき 国際性に富んだ地域人材を活かし、特色ある教育を展開すべき</p>
<p>働き方 (青年期～高齢者)</p>	<p>経済的な問題だけでなく会社など労働環境の整備も必要 横浜を(人口的に)ひとつの「国」ととらえ、行政や市民の力で「横浜らしい(市民活力を導入した)労働行政」を展開し、「国を超えることを市と民が行っている」ことを「横浜らしさ」にしていけば良い ニートやフリーター問題を解決しないかぎり、今の社会そのものが維持できない。「働く」ことの位置づけをしなおす必要がある ニート、フリーターなど、若者の就労問題が非常に重要 今後も、努力や競争によりお金を稼ぐことは変わらない。たてまえの「ゆとり」と現実のギャップが、ニートなどの問題にも絡んでいる 就職する前に地域との交流を持ち、社会的な経験とやりがいを感じる機会があれば、ニート問題の解決の糸口になる 仕事のおもしろさが子どもに伝わっていない。メッセージ(魅力)を発することができる大人が必要 ひたすら働く人と家庭を支える人など、分業により効率を追求してきた市場社会では人間の生活が分断されている。そういうあり方を変えていくことが少子高齢化社会や子育てを支える地域社会づくりにもつながる 女性が働きやすい環境をどのように実現していくかが大切 競争社会であることを隠す必要はないが、いろいろな競争の形があって良い。いい大学やお金などの指標だけではなく競争の複線化が必要 再挑戦が可能な複線化した社会の構築が重要 再挑戦のくみやセーフティーネットの構築などとともに、個性や多様性を踏まえたうえでの競争が活力ある社会には必要 「何でも挑戦できる都市・横浜」 在宅も含め多様な働き方が存在する横浜を実現し、横浜らしさにできないか 「働く場所が豊富」「(就労・起業等に)必要な情報が多く手に入る」「起業のしやすい」都市を「横浜らしさ」にできないか 65歳定年制以上のもも検討する必要がある 少子高齢化対策は経済成長を確保することにもつながっている</p>
<p>社会全体のくみ (制度・ツール、その他)</p>	<p>外国人と国際的日本人がたくさんいる横浜を実現 外国人が住みやすいまちづくり 個性や多様性が尊重され、だれもが希望を持てる社会を実現する 「個人の能力がいかに発揮される都市」の実現が横浜らしさの発揮につながる 夫婦共に夜遅くまで仕事し、子どもも夜中まで塾に通うような家庭環境を変えないと、希望あふれる都市にはならない 男女ともに、適度に働き適度に家庭で、地域の活動もできる、そのようなバランスの良い社会が必要 女性の能力をもっと活かし、「女性が元気なまち横浜」をキャッチフレーズにできないか 地域活動における男性の参加もポイントになる 経済的な「勝ち組」「負け組」の概念は今後どうなっていくか。別の概念への転換が必要ではないか 世代間の協力も必要 若者の市民参画を進めるのであれば、選挙権の拡大など社会に若者たちの意見を反映できるくみも必要 計画の検討から検証までを市民と行政などが協働して行い、市民の力が生かせる自治体が生き残っていく 子育てや介護をしている人やサポートしている人を市税で優遇するなど、誰もが希望を持てる社会の実現の視点も大切 寄付金の控除など、税制の面でも「横浜らしさ」を打ち出せないか セーフティーネットなど行政がしっかりと担うべき部分もある 社会保障制度や税制度、医療制度のあり方も大きく係わってくる 充実した障害者施策の維持の視点も大切 将来の生活保護制度をどうするかが課題</p>
<p>特色ある地域 (地域、制度・ツール)</p>	<p>横浜には下町やニュータウンなど様々な地域がある。それぞれの地域が持っている良さを活かしていく 交通アクセスの良さなどの横浜の特徴をアピールし企業誘致を進めるとともに、企業の社会貢献活動や地域との連携を進めることで、特色ある地域づくりができる 地域コミュニティの形成や市民参画を推進するためには、わかりやすい情報提供が重要 地域コミュニティ再生の議論においては、合意形成や意思決定、政策決定など市民参画が目的とするものを明確にしておく必要がある 世代間交流を進めることが、それぞれがいきいきと生活し、社会の活力を高める 旧来型の地域ネットワークとテーマ型のネットワークの融合が、これからの地域の活性化につながってくる NPOなども含めた多様で豊富な人材をうまく活用し、他の地域でできないことをやれるということが横浜らしさ 地縁や血縁を超えた、横浜らしい生活文化の継承が実現できると良い 地域の大人と子どもがお互いの顔が見える環境をどう取り戻すかが重要 分権と区行政への市民参画が進み、20年後には日本で一番市民自治が進んだまち横浜になる リベラルな雰囲気や緑の多さは横浜の特徴 「文化性」「新しいもの好き」「どちらかと言えば個人主義的」なところが横浜らしさ 横浜らしさを考えるうえでは、東京に近い「東京との関係」を考えることも大切</p>

都市像の方向性1

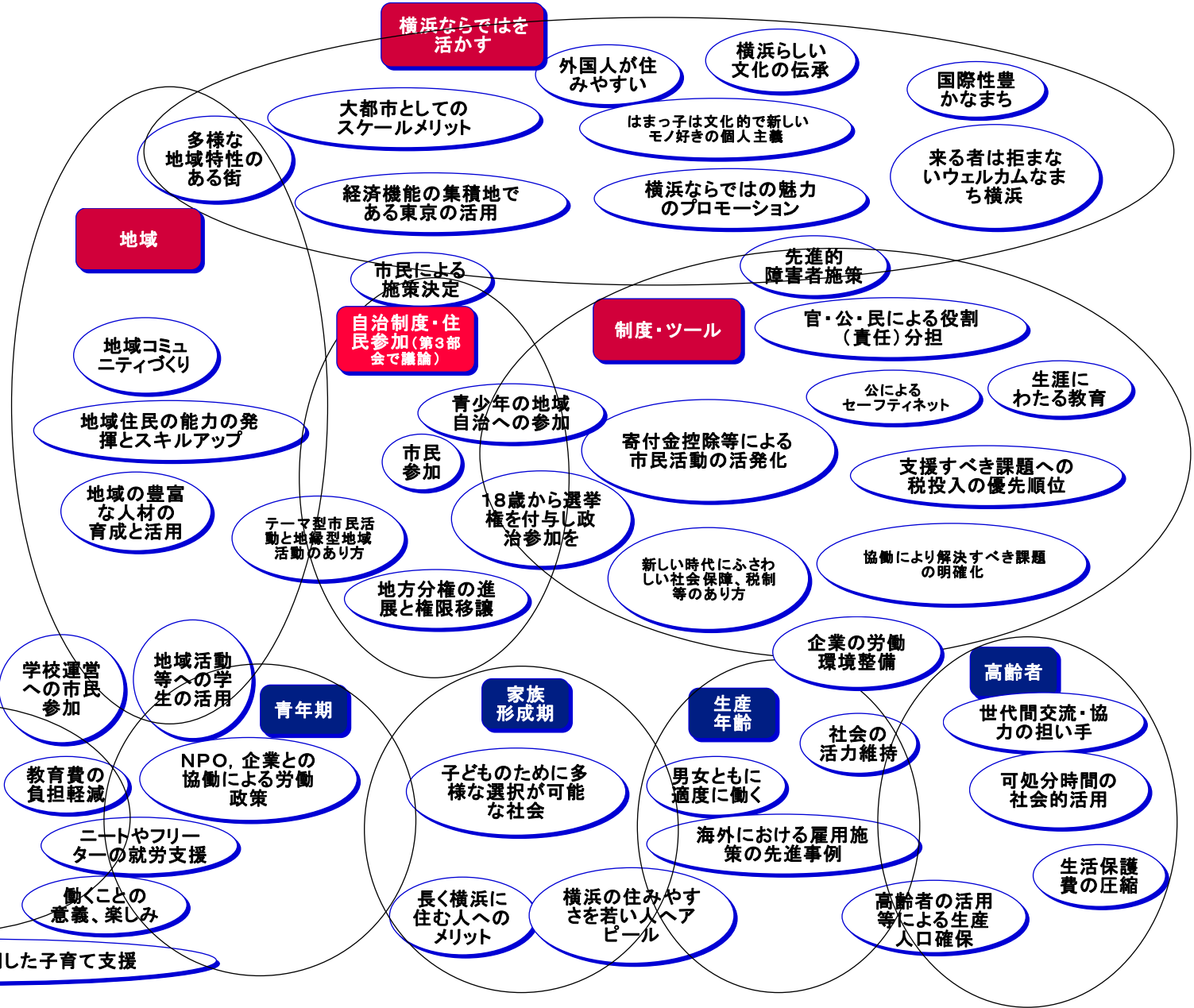
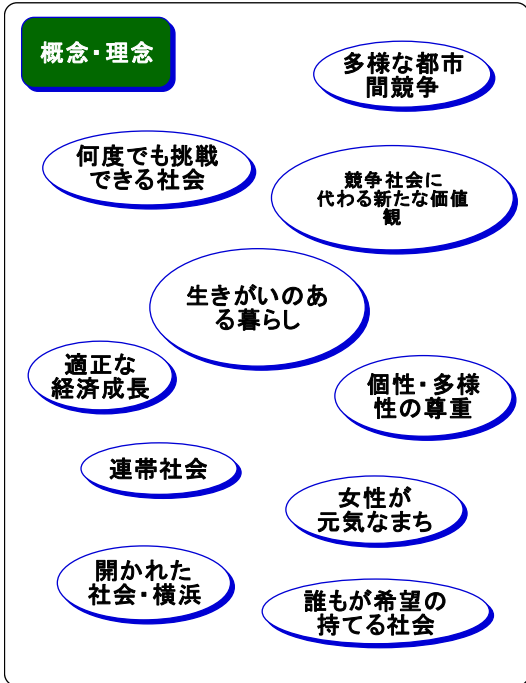
都市像の方向性2

都市像の方向性3

都市像の方向性4

都市像の方向性5

都市像の方向性6



都市像の方向性①

誰もが集い、長く住み続けたいくなる魅力がある都市

<都市像説明>

要旨:魅力ある都市づくりにより、誰もが集い、長く住み続けたいくなる都市を実現します。また、長く居住するほどメリットを感じる施策を展開し、都市の活力の維持を図ります。

施策の方向性

若者に魅力ある生活環境を創出します

- 若者世帯のニーズに応じた生活、就労環境をつくりだし、若者に魅力ある都市を目指します。
- 理想とする生活スタイルを実現できる、個性ある地域が豊富にある都市を目指します。
- 誰でもすぐに地域にとけ込める開かれた地域を目指します。
- 住みやすく、若者の活力が集結した都市の魅力を積極的に発信します。

誰もが長く住み続けたいと感じる環境を整備し、まちの魅力を高めます

- 勤労や就学などを含め、暮らしを全体でとらえたうえで、生活満足度の高いまちを目指します。
- 住み続けることが生活の充実や自己実現につながるまちを目指します。

都市像の方向性②

未来への希望あふれる子どもたちを、みんなで育む都市

<都市像説明>

要旨:社会全体で子育てを支援するとともに、子どもを産み育てることに積極的な価値を見いだせる社会を実現します。子育てしやすい環境を1つの大きな都市の魅力とします。

施策の方向性

子どもが生まれ成長する喜びを、みんなで分かち合える社会をつくります

- 子どもを産み育てることの意義を、親とともに地域や職場が積極的に認識することができる社会を目指します。
- 子育てに関する様々な不安や負担を解消し、子どもの成長をみんなで見守る社会を目指します。
- 子どもとともに家族の絆や夢を共有できる、ゆとりある家庭生活ができる社会環境をつくります。

子どもと一緒に自己実現を図れる社会をつくります

- 子育てしながら理想とする人生設計を描ける、多様な生活スタイルを実現できる社会を確立します。
- 子どもの未来と親子の充実した生活を託せる、魅力と将来性のある都市づくりを目指します。

子育てしやすい生活環境を実現します

- 子どもがのびのびと遊び、学べる安全な地域をつくります。
- 子育てしやすい住環境や、子育てバリアフリーのまちを目指します。
- 仕事と子育ての両立支援とともに、在宅での子育て支援も充実した都市を目指します。

都市像の方向性³

3 充実した学びにより一人ひとりの能力が最大限に発揮できる都市

<都市像説明>

要旨:横浜の特徴である豊富な人材と国際性を活かした、個性と多様性のある「教育」の充実により、各人の能力が存分に発揮され、社会を支える人材が輩出される都市を目指します。

施策の方向性

3.1 誰もが充実した学びにより心豊かに成長していける、教育充実都市を実現します

- 3.1-1 ●個性や能力に応じた学びの機会の充実により、誰もが存分に意欲を伸ばし成長していける都市を目指します。
- 3.1-2 ●時代や社会の変化に柔軟に対応した、良質な教育があるまちを目指します。
- 3.1-3 ●学校と家庭や地域が連携し、共に人を育てるまちを目指します。

3.2 生涯にわたる学びの機会が充実し、多様な人材を育てる都市を実現します

- 3.2-1 ●あらゆる教育資源が効果的に連携し、多様なニーズに応えられる教育システムを持つ都市を目指します。
- 3.2-2 ●年齢などにかかわらず、豊富な学びの機会と再挑戦できる教育システムを持つ都市を目指します。
- 3.2-3 ●地域コミュニティを支える人材が育ち、身につけた技術や能力を多様な場で活かせるまちを目指します。

3.3 国際性を養い、国際都市横浜を担う人材を育てる都市を実現します

- 3.3-1 ●国際都市横浜の特性を活かし、国際感覚豊かな人材を育成します。
- 3.3-2 ●国際都市横浜の魅力を積極的に発信します。

都市像の方向性⁴

4 多様性に富んだ労働環境のもと、個性に合った働き方を選択でき、何度でも挑戦できる都市

<都市像説明>

要旨:働くことの大切さや意義を誰もがきちんと認識することが重要となります。また、個人の意識だけでなく、充実した就労支援のもと、誰もが個性に合った多様な働き方を選択でき、かつ、何度でも挑戦できる社会を実現します。

施策の方向性

4.1 労働、就労に関する豊富な情報や機会を得られ、多様な職業やライフスタイルが選択できる社会をつくれます

- 4.1-1 ●仕事の情報や体験を通じて、個性や能力に応じた職業選択ができるしくみをつくれます。
- 4.1-2 ●就労につながりやすい教育や地域活動などを充実し、若者が社会に出やすい環境をつくれます。
- 4.1-3 ●学歴や経済的な価値観にとらわれずに、多様な職業やライフスタイルが選択できる社会を目指します。

4.2 生活環境などに応じた就労ができる、多様な働き方ができる社会をつくれます

- 4.2-1 ●働きたい人が、その生活環境に応じた働き方のできる雇用があるまちを目指します。
- 4.2-2 ●子育てや介護など、生活環境が変わっても働き続ける選択ができる、柔軟な労働環境を実現します。

4.3 才能や能力を活かし、何度でも挑戦できる社会をつくれます

- 4.3-1 ●必要な知識や技能を身につけられる、スキルアップの機会が豊富にあるまちを目指します。
- 4.3-2 ●個性ある豊富な人材が、その能力を最大限発揮できる場と機会のある社会を実現します。
- 4.3-3 ●生活環境の変化に応じたライフスタイルを選択できる、挑戦しやすい社会を実現します。
- 4.3-4 ●挑戦を応援する環境や気風にあふれる都市を目指します。

都市像の方向性 5

5 しっかりとしたセーフティネットのもと、個人や企業などの能力が最大限発揮される、活力あふれる都市

<都市像説明>

要旨：都市の担い手である市民・団体・企業などが、その能力を最大限発揮できるよう、必要なセーフティネットの構築や活動機会の提供をすすめ、都市活力の増進につなげます。

施策の方向性

5-1 安心して生活や活動ができる、希望あふれる社会を実現します

- 5-1-1 ● 変化する社会に対応したセーフティネットのもと、安心した生活と積極的社会活動ができる都市を目指します。
- 5-1-2 ● 多様化するニーズやそれぞれの価値観に応じ、自らの選択により自立した暮らしをおくることができる社会を実現します。
- 5-1-3 ● 起業しやすい環境や新しいビジネスチャンスにあふれるまちを目指します。

5-2 誰もが平等に能力を発揮できる機会がある社会を実現します

- 5-2-1 ● 障害の有無や国籍、年齢や性別にかかわらず、意欲に応え、能力が発揮できる機会がある社会を実現します。

都市像の方向性 6

6 多様な主体が活動し、互いが連携することにより発展する都市

<都市像説明>

要旨：様々なネットワークが効果的に連携することで、特色ある魅力的な地域をつくり、都市全体の活力を高めます。また、東京を中心とした首都圏や、アジアにおける横浜の役割、位置づけを活かした魅力あるまちづくりをすすめます。

施策の方向性

6-1 多様な担い手が相互に連携しながら活動できる地域社会を実現します

- 6-1-1 ● 多様で豊富な人材を活かし、横浜らしい市民活動を展開します。
- 6-1-2 ● 情報や人的資源の充実とともに、多様な組織や個人が適切に役割分担をすることで、活発な市民活動を展開します。
- 6-1-3 ● 企業と地域の連携を進め、特色ある地域づくりをすすめます。
- 6-1-4 ● 地域の大人と子どもが交流できる、世代間交流などの地域のネットワークづくりをすすめます。
- 6-1-5 ● 地縁型ネットワークとテーマ型ネットワークが融合し、活力ある地域づくりをすすめます。

6-2 地域の特徴を活かした、魅力あるまちづくりをすすめます

- 6-2-1 ● 横浜ならではの文化や歴史を活かし、地域の魅力づくりをすすめます。
- 6-2-2 ● 地域の交通環境や地理的条件などを活かし、それぞれが特徴に応じた魅力ある生活・活動環境を実現できる地域づくりをすすめます。

～ 参 考 資 料 ～

- ① 他部会の「中間とりまとめ案」他（第3回第2・3部会審議資料抜粋）

- ② 2005年 横浜市民意識調査 抜粋

- ③ 横浜会議（※）長期ビジョン研究会による「長期ビジョンへの提案（第1次案）」

※ 横浜会議（政策の創造と協働のための横浜会議）は、横浜市の総合的な政策形成能力の向上と協働型社会の実現を推進するために、政策研究を行う人々・グループの集まる場です。

2005年 横浜市民意識調査（抜粋）

<市民意識調査の概要>

- ◇ 調査地域：横浜市全域
- ◇ 調査対象：市内に居住する15歳以上の方 3,500人（外国人含む）
- ◇ 抽出対象：住民基本台帳からの層化二段階無作為抽出、外国人登録原票からの無作為抽出
- ◇ 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- ◇ 調査時期：平成17年6月17日～7月18日
- ◇ 回収結果：2,594票 回収率74.1% （平成16年度回収率 61.7%）

【20年後の社会】

Q 20年後の社会について、あなたはどのように思われますか。

(単位：%)

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
今よりも税金や社会保障負担が高くなっている	87.0	8.7	4.3
一人暮らしの高齢者や子どものいない家庭が増えている	82.2	10.6	7.2
地球温暖化などの環境問題がいつそう深刻化している	80.0	13.6	6.3
未婚者が増加し、晩婚化がより進んでいる	75.9	17.5	6.6
情報化が進み、つねに世界とつながる社会になっている	70.4	20.7	8.8
失業・不況が慢性化している	52.8	37.0	10.3
個人能力や目標に応じた教育を選択できるようになっている	44.6	35.6	19.8
外国人も地域で一緒に暮らし、働く社会になっている	42.5	36.4	21.1
循環型社会が一層進んでいる	40.5	52.2	7.2
地域でも市民活動が活発になり、起業する人が出てくる	37.1	48.4	14.6
人口減少と高齢化によって	36.4	36.8	26.8
仕事と子育てが両立できる社会になっている	34.4	30.5	35.1
エネルギーが不足し、耐乏生活をしている	25.9	43.2	30.9
都市にオープンスペースが増え、緑が今より多くなっている	25.2	35.9	38.9
地域問題に市民同士が解決に向け行動するようになっている	23.4	43.2	33.5
横浜がアジアの経済・文化交流の中心的役割を担っている	23.0	51.2	25.8
食糧が不足し、食べるのに大変な時代になっている	20.3	39.9	39.8
余暇が増大し、皆が思い思いの楽しみを味わっている	20.1	33.8	46.0
災害や犯罪に強い安全で安心なまちになっている	12.8	41.8	45.6
経済が活性化し、暮らしが今以上に豊かになっている	10.1	36.4	53.5

【横浜のイメージ】

Q あなたは、横浜を最もよくあらわすイメージは何だと思われますか。(3つ選択)

	項目	%
1	海と港	85.8
2	異国情緒・国際都市	57.1
3	観光・レジャー	21.3
4	歴史・伝統	20.5
5	ファッション・ショッピング	16.9
6	緑と丘	12.6
7	住宅・ベッドタウン	12.6
8	産業・ビジネス	10.4
9	美しい街並み	8.5
10	開放性・進取の気性	7.3
11	スポーツ・文化芸術	6.0
12	雑然とした街並み	4.4
	無回答	0.3

Q 「横浜」について魅力を感じる点はどんなところですか。(3つ選択)

	項目	%	H9%
1	海や港が身近にある	59.3	55.5
2	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である	43.6	48.6
3	国際的な雰囲気がある	37.2	44.2
4	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である	23.1	21.2
5	まとまった緑地などの自然が残っている	20.2	22.1
6	伝統が息づき、古い街並みや建物が残るなど街に落ち着きがある	14.6	13.0
7	文化・スポーツ・娯楽施設が充実している	11.6	10.4
8	情報が豊富で、新しい文化が生まれ、街が個性的である	10.7	12.3
9	経済的に活力があり、働く場に恵まれている	10.5	14.1
10	地域社会が開放的でサバサバしている	4.9	5.0
11	物価や地価が安定している	2.8	2.9
12	人情味が豊かで人と人の触れあいがある	2.8	6.0
13	風紀が良く犯罪が少ない	2.0	3.5
14	防災対策が充実しており、安心して暮らせる	1.3	2.6

特に魅力を感じる点はない

4.5

【市民活動】

Q あなたは現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(複数回答.)

平成17年	%	平成14年	%
自治会、町内会の活動	21.0	自治会、町内会の活動	18.0
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	17.0	文化・芸術・スポーツの参加や振興	10.2
祭や盆踊り、運動会などのイベント	12.3	祭や盆踊り、運動会などのイベント	8.7
文化・芸術・スポーツの参加や振興	11.7	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	8.6
子育てサークルやPTA活動	6.6	子供会、婦人会、老人クラブの活動	6.8
子供会、婦人会、老人クラブの活動	6.4	子育てサークルやPTA活動	6.2
身近な道路や公園などの清掃活動	5.5	身近な道路や公園などの清掃活動	5.7
高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	4.9	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	3.1
その他の社会奉仕などボランティア活動	3.9	その他の社会奉仕などボランティア活動	3.1
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	3.5	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	2.5
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	1.3	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	1.5
身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全	1.2	身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全	1.2

特にない

52.3